

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	総務	局	人事	部	人事	課
項目	6-4	職員の特性に応じた人材の活用				
実施内容	職員のもつ特性を見極め、活用するため、自己申告制度や庁内公募制度の実施及び拡充を行います。職員には、複数分野での業務経験を積ませる一方で、特定の専門領域に特化した職員育成を行う等、複線型人事制度の検討・本格導入を行います。					
目標	複線型人事制度の導入 自己申告制度及び庁内公募制度等の改定及び拡充 (平成28年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		複線型人事制度の本格導入に向けた詳細設計		複線型人事制度の本格導入、導入結果及び課題等の調査、分析	複線型人事制度の導入結果及び課題等の調査、分析、改善案の策定・実施	
進捗状況 (実績・見込)	26年度	27年度	28年度	29年度		
		自己申告制度の改定による効果及び課題等の調査、分析、改善案の策定・実施	自己申告制度の改定による効果及び課題等の調査、分析、改善案の策定・実施	自己申告制度の改定による効果及び課題等の調査、分析、改善案の策定・実施		
数値目標	-	見込	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
実績	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内FA制度を実施し、申請者の希望に配慮しつつ異動に反映させた。 ・ 自己申告制度を実施し、職員の異動希望や各職員の持つ知識・経験を把握しながら、可能な限り異動に反映させた。 ・ 庁内公募制度を実施し、組織の活性化及び職員の自主性と職務意欲の向上を図った。 				
単年度の 効果額見込 及び実績	見込	26年度	27年度	28年度	29年度	
		実績	-	-	-	-
評価	29年度	B	課題	職員の特性及び組織の実情に応じて、より一層人材を活かすことができる人事制度を構築する必要がある。		
			改善策	先進事例等を参考にしながら本市にふさわしい人事制度を構築し、人材の有効活用につなげていく。		
評価基準		A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成				
備考						